

鳥取 YEG 通信



発行：平成 29 年 1 月 15 日
鳥取商工会議所青年部
広報情報発信委員会

鳥取商工会議所青年部通信

January 2017

平成28年度 会長あいさつ



鳥取商工会議所青年部
会長 牧浦 健泰
株式会社 牧浦商店

新年明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。昨年は、鳥取商工会議所青年部に多くの皆さまより格別のご厚情を賜り、心よりお礼申し上げます。鳥取YEGは、昨年の4月に88名の仲間と年度スタートを致しました。私たちが初め、誠、等しく地域の一番を目指し、物事の初め、誠、等しくする、ひとすじ等の意味のある漢字の「一」から平成28年度末会員目標を111名と掲げておりました。昨年末には会員数が130名超となり、新しい仲間と共に新年を迎えることができました。昭和54年の創立より、諸先輩が鳥取の街や経済に足跡を残された鳥取YEGに、鳥取を支える多くの若手青年経済人が入会してくださいます。私たちが生活の基盤とする「鳥取のために何をすべきか。何ができるのか」を常に念頭に、今年も活動してまいります。しかし、物事を成し遂げるには一人だけの力では不十分です。共感して協力してくれる仲間や支えてくれる人がいて成し遂げられると思います。「進化論」で知られるダーウィンの言葉に「生き残るのは強い者でも、賢い者でもない。変化に対応できる者である」とあります。私たちが考えている、従来の常識の枠の外側に方向性や解決策が見いだされることがあるかと思えます。そのために、この一年、「Change(変化)」「Challenge(挑戦)」「Choice(選択)」「Chance(好機)」「Cheer(応援)」「Go(行く)」のGから始まる英単語を、これからもしっかりと心に留めて活動してまいりたいと思えます。私たちが中小企業か、これからも「変化対応型企業」であるためにも、このGをキーワードに「元気な鳥取」「遊・食・観・住」の魅力のある鳥取」を発信致します。

さて、昨年最後の12月定例会は、広報情報発信委員会の皆さんの設営により会場をホテルニユーオータニ鳥取に移し、クリスマス家族会と併せて開催されました。当日は、普段お会いしない家族の皆さんと一年ぶりの再会や、初めて参加される家族の皆さんと会員同士が和やかな時間を過ごしました。私も初めてサンタクロースに扮して、子どもさんたちに恐れられながらもプレゼントを配りました。また、たくさんゆるキャラの登場や、プレゼント交換、クイズやゲームといった楽しい企画により、いつもとは違う会員の皆さんの顔が会場の各テーブルに見えました。私たちがYEG活動を日々楽しく、充実させることができるのは3Kのおかげです。Kは、「家族」「健康」「会社」です。この全てがバランスよくそろい、地域を支える気概を持ち、初めて会員自身の成長や自企業の発展、ひいては地域経済の発展につながります。地域企業の発展は企業のリーダーの育成からと言われております。鳥取YEGでは会員一人一人が、今年一年新しい自分を発見すること、大きな目標を持ち、新たな気持ちで活動してまいります。つきましては、地域の皆さまから鳥取YEGに多くのご意見やアドバイスをお待ちしております。お褒めの言葉を頂戴激励していただきますことも、私たちの活動の励みになります。「批判なくして前進なし、批判の中にはヒントがある」と真摯に受け止め、皆さまの温かいメッセージを鳥取の将来、未来の財産となるように具現化いたします。暦の上では、まもなく「大寒」です。寒さがさらに厳しくなり、一年で最も寒い時季です。この時季の井戸や湧水は、不純物が最も少なく澄んでおり、柔らかな味でいつまでも変わることなく保存できる「寒の水」と言われております。この時季の「寒の水」のごく、鳥取YEGは年間を通して「鳥取の泉」となり、熱き若人が大寒に負けない熱いエネルギーで、青年部も藤縄会頭と同じく「鳥取の元気、会員の元気」のために頑張ってください。この一年間もよろしくお願致します。

余興は、県内6体の「ゆるキャラ」と各委員会がコラボしての「委員会対抗ジェスチャーゲーム」。手足や全身の動きが、ゆるい、ため回答に苦戦しつつ、こどもたちも参加して正答数を競いました。最後は特別ゲストも登場。サンタさんがこどもたちにもプレゼントを配ってくれました。

家族はもとより、YEG会員同士が家族のように和気あいあいとしながら、親睦を深めるよい機会ともなりました。



お馴染みのゆるキャラが勢ぞろい



子供たちもプレゼントに大喜び

12月例会は恒例のクリスマス家族懇親会を兼ね、会員と家族を合わせて120名を超える参加者で開催しました。冒頭に牧浦会長より「家族の応援があつてこそYEG活動ができる」ことへの感謝の言葉もありました。お楽しみ家族会は、広報情報発信委員会は、広報情報発信委員会

12月例会・クリスマス家族懇親会

日時 平成28年12月14日(水) 18:30～21:00
場所 ホテルニユーオータニ鳥取 鶴の間

オープン委員会を開催しました!

ビジネススキル向上委員会

ビジネススキル向上委員会は、12月6日(火)に今年度5回目となるオープン委員会「ワイン講座」を開催しました。講師を務めていただいたのは、日本ソムリエ協会認定ソムリエでもある、谷本暢正監事。長いYEG歴をお持ちの谷本監事ですが、会員向けにワイン講座を開催していただくのは初めてのことです。

谷本酒店3階の特設会場で、講義と試飲の流れでワインを学びました。講義ではフランス産ワインの背景にある世界史やフランスの100km圏内に3,000ものワインシャトー(ワインの醸造所)が点在する話、市場価格が100万円するワインの王様ロマネーコンティの原価は?

などなど、さまざまな角度からワインの奥深さをお話いただきました。谷本監事の「ワインはブドウだけ。何も足さない、何も足せない」の言葉にブドウの本質が問われる凄みを感じました。

青年部の指針の中に、国際社会の一員であるべき国際人としての教養を高めようということがあります。今回の講座は、われわれYEG会員にとって、今後必ず役に立つであろう、ワインの教養を学ぶ機会となりました。谷本監事、お忙しい時節に時間を作っていただき、誠にありがとうございます。

ビジネススキル向上委員会
小山 尚悟



熱心に聞き入るYEGメンバー

YEGコミュニケーション委員会

11月29日(火)に行われたYEGコミュニケーション委員会「新メニューの発表」は、メンバーの新たな一面の発見の場となるようにと、ケーススタディスタイルの交流会形式で開催し、商工会議所の職員にアドバイザーとして参加いただきました。

参加42名が6テーブルに分かれ、まずは「月からの脱出」というコンセンサスゲーム。月で遭難した状況下で15のアイテムを利用し、無事脱出するための優先順位をまずは自分で、次にグループでの考察。最終的な答え合わせでは、意見が分かれて盛り上がりました。

続いてケーススタディ。テーマは「あなたは年商8億円、負債5億円のドラッグストアの経営者です。もし今3億円手

に入らなければどのように利用しますか?」。

資料としてB/SとP/Lとドラッグストアの現状が提示され、各グループで任命されたグループ長と補佐役が議論を盛り上げます。各テーブルで資金の使い道と事業の発展について、非常に白熱した議論が繰り広げられ、最後の各グループでの結果発表では、メンバー次第でさまざまな見解が導きだされるものだなと感じました。

その後、商工会議所の青木部長による総評が締めとなりましたが、非常に中身の濃いあつこい2時間でした。

YEGコミュニケーション委員会
副委員長 中井 史生



真剣に議論が交わされました

地域資源活性化委員会

11月19日(土)にオープン委員会「鳥取こぢみぶらりてまちぶらり」を開催しました。「鳥取こぢみぶらり」というアプリをご存じでしょうか?スマホ、タブレットで中心市街地の古地図、航空写真にGPSによる位置情報で現在地を表示し、さまざまな情報を知るアプリです。

当日はA、Bコースに分かれアプリを片手にまちあるきを行いました。Aコースは鳥取市教育委員会文化財課の佐々木様の解説付きまちあるきです。鳥取城から始まり、普段は気づかない街の凹凸、城下町の痕跡を再発見しました。Bコース

は鳥取県立博物館の来見田様と歩くクイズラリーまちあるきです。ひねりの効いたクイズで街の移り変わりを学び、大変好評でした。鳥取市は城下町でありながら、鳥取地震、鳥取大火の影響もあり、城下町としての面影は限りなく薄いのです。しかし、実際に目を凝らして歩いてみると見えてくる城下町としての痕跡。これもれっきとした地域資源の一つ。次代へ継承していきたいと思えます。

地域資源活性化委員会
委員長 野田 幸洋



城下町がよみがえります

【会員増150%達成!】
今年度当初の88名から、このたび会員数132名となり50%の会員増を達成しました!この歩みを止めることなく、引き続き会員を募集しております。よろしくお申し込みをお願いします。

新入会員



山本 祥敬 君
(やまもと よしのり)
事業所名 備上野クレーン
所属委員会 YEGコミュニケーション委員会



奥村 道哉 君
(おくむら みちや)
事業所名 備doorpost
所属委員会 未来づくり創造委員会



田村 康悦 君
(たむら やすえ)
事業所名 備田村紙店
所属委員会 地域資源活性化委員会

交代会員



坂口 孝君
(さかぐち たかし)
事業所名 meetworks
所属委員会 YEGコミュニケーション委員会